

令和 8 年 7 月 28 日
作成者：社会事業部 平林章

報告書

事業名 令和 8 年飯田 OIDE 長姫高等学校建築学科出前授業
日 時 令和 8 年 7 月 21 日（火） 11：00～11：50
対象者 建築学科 1 学年 38 名（男性 20 名・女性 18 名）
内 容 座学：土地家屋調査士の業務説明および体験談紹介
実施者 社会事業部 平林章

1. 目的

今回の出前授業は、社会貢献活動および広報活動の一環として実施したものであり、建築学科の生徒に「土地家屋調査士」という職業を知ってもらうこと、また将来的に試験へ挑戦し調査士を目指すきっかけとすることを目的とした。土地家屋調査士は、国民の財産である土地・建物に係わる社会貢献性の高い重要な職業であることも併せて伝えた。

2. 実施内容

講義では、パワーポイント資料を用いて土地家屋調査士の仕事内容を中心に説明した。地図、登記情報、測量図、各階平面図などの資料は配布し、建築学科の学習内容と関連づけながら理解を促した。

講義の流れは、挨拶、講義 1（調査士とは）、広報グッズの配布、講義 2（体験談）、アンケートの順で進行した。

生徒からの質問は特に見られなかったが、全体を通して真剣に受講している様子が見られた。資料を確認しながら講義内容に集中する姿も多く、特に講義 2（体験談の紹介）は、生徒が前向きに耳を傾ける様子が見られ、理解しやすい内容として受け止められていた。建築士志望の生徒は 39 名中 9 名であり、志望の有無にかかわらず集中して聴講していた。

広報グッズとして、マンガ「土地家屋調査士成長物語」、付箋紙、クリアファイルを配布し、興味を持った際に読んでもらえるよう案内した。

アンケートについては後日集計予定であるが、生徒からは前向きなコメントが多く寄せられており、今回の講義が理解促進や職業認知の向上につながったことが期待される。